

地域連携担当教職員等南会津地区研修会

日 時：令和2年7月10日（金）13：20～

会 場：南会津町御蔵入交流館 多目的ホール

参加者：域内小・中・高等学校地域連携担当教職員、域内町村教育委員会担当者

当日は28名の参加者を迎え、以下の内容で研修会を開催しました。はじめて地域連携担当教職員になった先生方や教育委員会の担当者が参加していたので、そういう方にとってはたいへん貴重な研修会になりました。また、今年度2年目という方にとっても、より自信を深められるような内容であったと思います。

①行政説明「地域と学校の連携・協働を進める上で大切なこと」

福島県教育庁 社会教育課 社会教育主事 太田 徹

②講 話「栃木県における地域学校協働活動の推進について」

栃木県教育委員会事務局 那須教育事務所 ふれあい学習課 副主幹 横田 洋勝 氏

③実践発表「“みんなで支え みんなで育て みんなが育つ” 大玉の教育～おおたま学園、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動事業の一体的推進を通して～」

大玉村教育委員会 教育部生涯学習課 社会教育係長 田辺 将裕 氏
大玉村地域学校協働本部 地域学校協働活動推進員 佐藤 勇人 氏

④グループ協議「自分の町（村）で何ができるか」

まだまだ不安な面や不明な点もあると思います。困ったことや悩んでいること等ありましたら、遠慮なく事務所までお問い合わせください。本研修会の感想の一部をご紹介します。ご覧ください。

<参加者からの感想>

【行政説明】

- 地域と学校との連携・協働の意義や効果が分かったので、行政の中で周知し、地域コーディネーターの設置を目指し、働きかけていきたい。
- 地域の方々にも入っていただいていたのでの振り返りは必要だと感じた。それを蓄積していくことによって、次年度さらに充実した連携が図れるとともに、教育活動も充実したものになっていくと思う。
- 昨年度もこの研修会に参加したが、効果・目的を再認識することで、さらに充実しなければという思いが強くなった。引き継ぐ視点の大切さについても話があったので、記録としてまとめることも進めていきたい。



【講 話】

- これからの未来、よりよい社会を創っていくために、地域を知り、社会を知る教育の大切さを感じることができた。
- 具体的な事例をいただき、たいへん参考になった。まずは、現在地域との関わりのある活動を整理するなどしていきたいと感じた。
- 継続性が重要であることがよく分かった。本校の課題はまさにこの部分である。かつて行われていた優れた取り組みが、人の入れ替わりですべて失われてしまっている。長期的に間に入ってくれる人材をどのように確保すべきか具体例が欲しかった。



【実践発表】

- 「おおたまコミュニティ」とてもすばらしい取組だと思った。これらの取組によって大人も子供も地域に誇りを持ち、教育効果も非常に高いと感じた。南会津でもできるのではないだろうか。まずは行政を中心に一步踏み出してみてもいいと思う。
- コミュニティスクールについて、実際の取組の様子を見ることができ参考になった。有意義なものであることも分かったが、それが教職員の負担過重にならないように実践していることについても伺いたかった。
- おおたまコミュニティ広場におけるフリートークの場に魅力を感じた。学んだことを発表し、それに対する評価（厳しくも温かい）できる場があると、地域の一員として地域参画の意識がより醸成されるのではと思う。



【グループ協議】

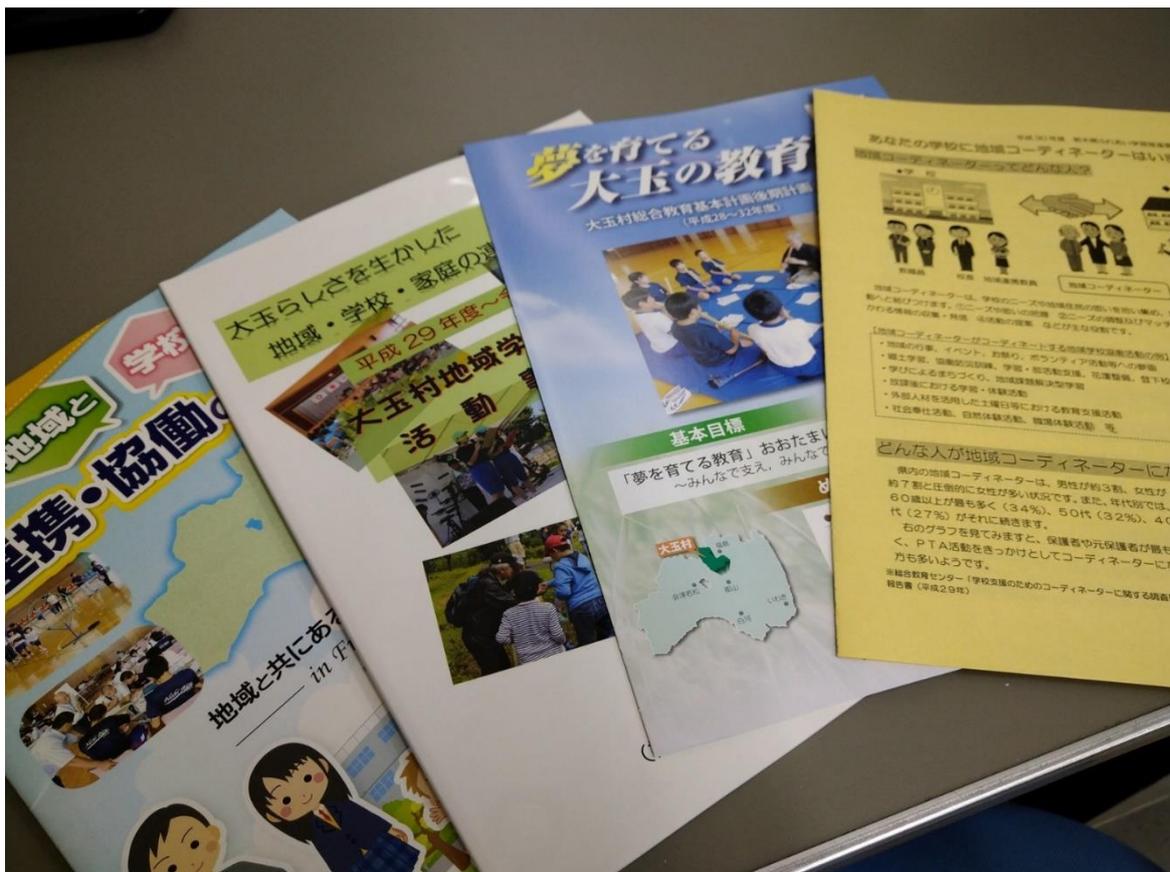
- 様々な学校の意見を聞くことができてよかった。地域連携協働活動を進めるにあたり、システムをいかに簡単にできるかがカギになると思う。
- 既存の活動をもう一度見直し整理することで、地域連携は実現していけるのではと感じた。町内の学校でざっくばらんに協議できてよかった。
- 町での人材リストの作成や地域ボランティアの募集、地域コーディネーターの選出など、町教委の方を中心に具体的に進めることができたのでよかった。一歩前進したような気がする。



たくさんの貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。

とにかく、「できることから一歩ずつ!!」。そんなスタンスで進めていければと考えています。

※8月21日(金)には「地域学校協働南会津地区研修会」を開催します。ぜひともご参加ください。



当日の資料の一部